

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公表番号】特表2017-535114(P2017-535114A)

【公表日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-514601(P2017-514601)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/4385 (2011.01)

H 0 4 N 21/8358 (2011.01)

【 F I 】

H 0 4 N 21/4385

H 0 4 N 21/8358

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月18日(2018.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メディアコンテンツを処理する方法であって、

固有識別子と関連した受信機を用いて、同じイベント及びシグナリング情報の複数のメディア・コンテンツ・ストリームを含むデータ信号を受信するステップであって、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの各メディア・コンテンツ・ストリームは、前記メディア・コンテンツ・ストリームの視覚的に固有のレンダリングを含むステップと、

前記受信機を用いて、前記シグナリング情報及び前記固有識別子に基づいて、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを選択するステップと、

表示インターフェースに、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの前記選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを提供するステップと、

を含み、

前記選択が、前記個別識別子に基づく、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの中の一連の切換であることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記シグナリング情報は、プログラム識別子 (P I D) 情報を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記視覚的に固有のレンダリングは、前記選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームの視覚コンテンツ内の領域において合成される可視フィンガープリントマークを埋め込むことを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記固有のレンダリングは、前記選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームの視覚コンテンツ内の遷移の時間的位置の間に合成されるフィンガープリントマークを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記シグナリング情報は、前記受信機による解読のために暗号化される請求項 1 に記載

の方法。

【請求項 6】

前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを選択する前記ステップは、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの 2 つ以上を選択することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

メディアコンテンツを処理する装置であって、

第 1 のメディアコンテンツを受信するモジュールと、

第 2 のメディアコンテンツを受信するモジュールと、

前記第 1 のメディアコンテンツを前記第 2 のメディアコンテンツと結合するコンバイナモジュールと、

制御信号を受信して、前記制御信号を用いて、前記コンバイナモジュール及び出力生成モジュールの動作を制御する制御モジュールであって、前記出力生成モジュールは、前記制御モジュールの制御の下で前記第 1 のメディアコンテンツ及び前記第 2 のメディアコンテンツの視覚的に固有のレンダリングを生成する制御モジュールと、

前記出力ビデオ信号を表示インターフェースに出力する表示インターフェースモジュールと、

を備え、

前記コンバイナモジュールが、前記個別識別子に基づき、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの中で切換えるように構成されていることを特徴とする装置。

【請求項 8】

前記出力ビデオ信号を表示するための表示装置を更に含む請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記第 1 のメディアコンテンツはビデオプログラムであり、そして前記視覚的に固有のレンダリングは、前記制御信号で規定されているように、前記第 1 のメディアコンテンツ内の表示領域において合成される可視マークを含む請求項 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記制御モジュールは、暗号化されたフォーマットの前記制御信号を受信する請求項 7 に記載の装置。

【請求項 11】

前記出力生成モジュールは、前記制御モジュールにより制御されるように、いろいろな時間における前記第 2 のメディアコンテンツからのいろいろなコンテンツを前記第 1 のメディアコンテンツと結合することによって、前記出力ビデオ信号を生成する請求項 7 に記載の装置。

【請求項 12】

前記制御信号は、前記第 1 のメディアコンテンツと前記第 2 のメディアコンテンツの結合をオン / オフする信号を含む請求項 7 に記載の装置。

【請求項 13】

メディアコンテンツを処理するために、命令によってコード化される非一過性の機械可読記憶媒体であって、

固有識別子と関連した受信機を用いて、同じイベント及びシグナリング情報の複数のメディア・コンテンツ・ストリームを含むデータ信号を受信するという命令であって、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの各メディア・コンテンツ・ストリームは、前記メディア・コンテンツ・ストリームの視覚的に固有のレンダリングを含む命令と、

前記受信機を用いて、前記シグナリング情報及び前記固有識別子に基づいて、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを選択するという命令と、

表示インターフェースに、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの前記選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを表示させるという命令

と、

を含み、

前記選択が、前記個別識別子に基づく、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの中の一連の切換であることを特徴とする、非一過性の機械可読記憶媒体。

【請求項 1 4】

前記シグナリング情報は、プログラム識別子 (P I D) 情報を含む請求項 1 3 に記載の非一過性の機械可読記憶媒体。

【請求項 1 5】

前記固有のレンダリングは、前記選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームの視覚コンテンツ内の領域において合成される可視フィンガープリントマークを含む請求項 1 3 に記載の非一過性の機械可読記憶媒体。

【請求項 1 6】

前記固有のレンダリングは、前記選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームの視覚コンテンツ内で遷移の時間的位置の間に合成されるフィンガープリントマークを含む請求項 1 3 に記載の非一過性の機械可読記憶媒体。

【請求項 1 7】

前記シグナリング情報は、前記受信機による解読のために暗号化される請求項 1 3 に記載の非一過性の機械可読記憶媒体。

【請求項 1 8】

前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを選択するようにという前記命令は、前記複数のメディア・コンテンツ・ストリームの 2 つ以上を選択するようにという命令を含む請求項 1 3 に記載の非一過性の機械可読記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

[0005]一つの態様では、メディアコンテンツを処理する方法が開示される。同じイベント及びシグナリング情報の複数のメディア・コンテンツ・ストリームは、固有識別子 (I D) と関連した受信機によって受信できる。複数のメディア・コンテンツ・ストリームの各メディア・コンテンツ・ストリームは、メディア・コンテンツ・ストリームの固有レンダリングを含むことができる。複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームは、受信機を使用して選択できる。複数のメディア・コンテンツ・ストリームの選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームは、表示装置に一度に提供することができる。選択は、個別識別子に基づく、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの中の一連の切換である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

[0006]別の態様においては、メディアコンテンツを処理する装置が開示される。装置は、受信機及び表示装置を含むことができる。受信機は、同じイベント及びシグナリング情報の複数のメディア・コンテンツ・ストリームを受信できる。複数のメディア・コンテンツ・ストリームの各メディア・コンテンツ・ストリームは、メディア・コンテンツ・ストリームの固有レンダリングを含むことができる。受信機は、固有識別子 (I D) と関連付けることができる。受信機は、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも

一つのメディア・コンテンツ・ストリームを選択できる。表示装置は、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを表示できる。コンパイナモジュールが、個別識別子に基づき、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの中で切替える。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

[0007]別の態様においては、メディアコンテンツを処理する方法を実行するための命令によってコード化される非一時的機械可読記憶媒体が開示される。同じイベント及びシグナリング情報の複数のメディア・コンテンツ・ストリームを受信するための命令はコード化することができて、そこにおいて、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの各メディア・コンテンツ・ストリームは、メディア・コンテンツ・ストリームの視覚的に固有のレンダリングを含むことができて、そこにおいて、受信機は、固有識別子と関連付けられてコード化される。シグナリング情報及び固有識別子に基づいて、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを選択するための命令は、媒体でコード化することができる。加えて、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの選択された少なくとも一つのメディア・コンテンツ・ストリームを表示装置に提供するための命令は、コード化することができる。選択は、個別識別子に基づく、複数のメディア・コンテンツ・ストリームの中の一連の切換である。